

パレット

～認める 支える 分かち合う 個性かがやく参画社会～

「佐野市男女共同参画都市宣言キャッチフレーズ」

新型コロナウイルス感染症の影響で、 あなたの生活はどんな風になりましたか？



「日本女性会議2020あいち刈谷」の分科会に出演した永島典子さん。日本女性会議初のオンライン開催のため、「ウェブ会議システム」を利用した出演になりました。ほかの出演者とスムーズにやり取りする様子に、将来のコミュニケーションのあり方を考えさせられました。
(関連記事は3ページをご覧ください。)

これからの編集会議は
「ウェブ会議」で
進めよう！

アプリを入れる
のが少し難し
かったかも？



なれると意外と
簡単！

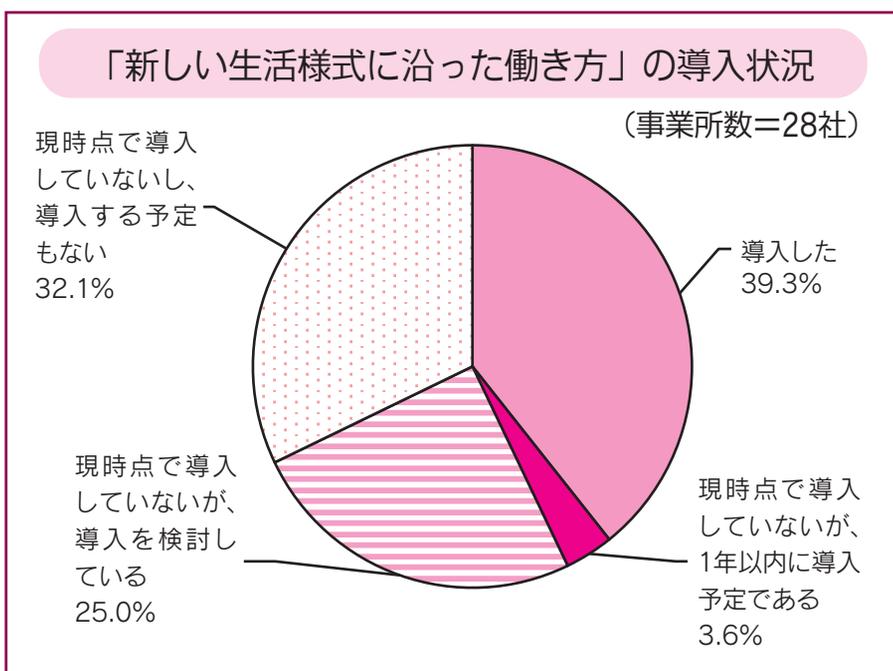


パレット編集会議も、
「ウェブ会議システム」で行いました。



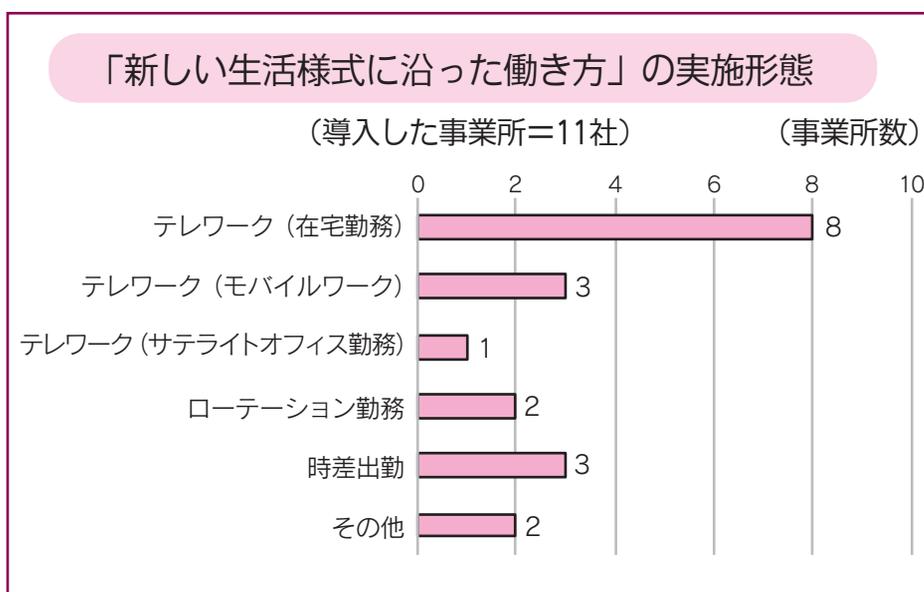
「働く場」の状況を緊急調査!

Q. 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「新しい生活様式に沿った働き方」を導入しましたか。



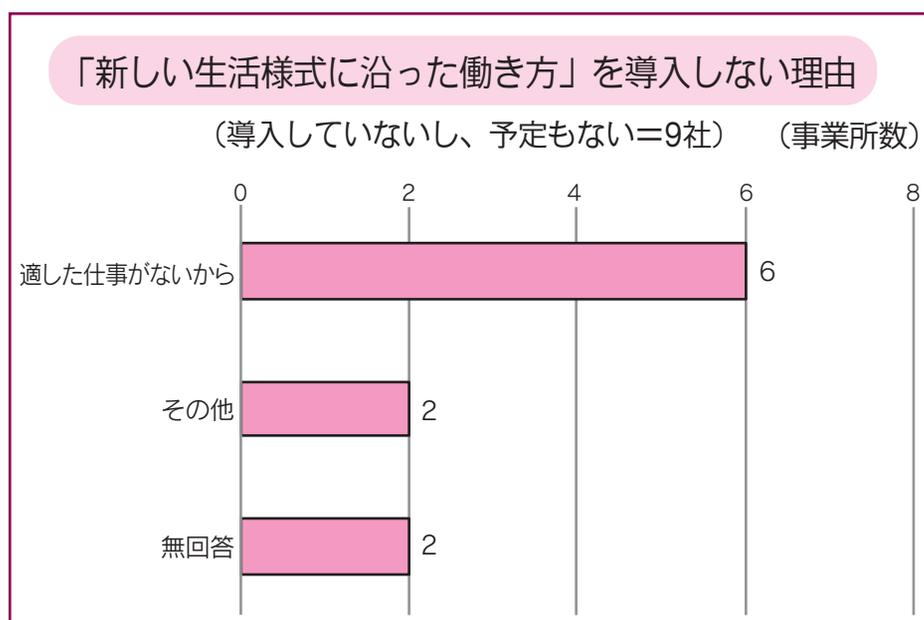
約4割の事業所で「新しい生活様式に沿った働き方」を導入していました。最も多いのがテレワークで、そのほかにローテーション

Q. 「新しい生活様式に沿った働き方」について導入形態をお聞かせください。(複数回答)



勤務や時差出勤も行っていました。また、事業所の中には24時間操業の工場や対人対応の事業所など、事業の内容から導入が難しい現状があることがわかりました。

Q. 「新しい生活様式に沿った働き方」を導入しない理由についてお聞かせください。(複数回答)



アンケート調査
令和2年12月15日の「企業人権啓発懇談会」に参加した事業所28社を対象にアンケートを実施しました。ご協力いただいた事業所の皆様ありがとうございました。

三福工業株式会社 様
(製造業 佐野市植下町)



▶(右) 岩崎次長
(中) 山下次長
(左) 三田課長

日本コーティングセンター株式会社
佐野工場 様
(製造業 佐野市岩崎町)



▶徳増佐野工場長

『新しい生活様式に沿った働き方』を
始めた事業所の方に伺いました！

コロナ後もウエブ会議の活用へ

昨年3月頃からウエブ会議を導入し始めました。これまでは神奈川の本社に、佐野のほか名古屋や兵庫県明石市から担当者が集まったの会議でしたが、ウエブ会議では、必要なことをコンパクトに話すことや時間内で終わることを、さらに神奈川に向いていた出張費を抑えることができました。工場のため在宅勤務は難しいですが、コロナ後もウエブ会議を活用していくほか、できることを進めていきたいです。

**在宅勤務を介護や
家族が病気の社員にも**

昨年2月頃から在宅勤務の検討を行い、4月から導入しました。近県や東京から通勤する社員からは時間を有効に使えた一方、公私の切替えが難しいという声がありました。また部署により書類の持出しや、システム環境で在宅勤務が難しいことも確認できました。今後は介護や家族が病気の社員が在宅勤務を幅広く活用できるように規定を策定したいです。またすでに他の事務所や、海外駐在者とのウエブミーティングを導入しています。

日本女性会議もオンライン！

新型コロナウイルス感染症の影響から、「日本女性会議2020あいち刈谷」は初のオンライン開催となりました。大会当日は、佐野市から刈谷市へのバトンパスセレモニーの様子を佐野大会元実行委員たちが見守りました。また、防災の分科会に出演された元運営委員の永島典子さんが災害ボランティアの体験談や佐野市の状況を語ってくれました。これからは新しい生活様式に沿ったコミュニケーションツールを模索するときなのかもしれません。



(上) バトンパスセレモニーを見守る元実行委員たち
(下) バトンパスセレモニーに出演した元実行委員たち

市内2団体が「令和2年度栃木県男女生き生き地域活動表彰」を受賞!

地域で積極的に男女共同参画について活動している個人や団体を表彰する「栃木県男女生き生き地域活動表彰」に、市内から「佐野女性史研究会」と「朗読ひびき」の2団体が優秀賞として表彰されました。授賞した団体の方にお話を伺いました。

【佐野女性史研究会】↓**女**
【朗読ひびき】↓**ひ**

Q. 活動を始めたきっかけは?

女 市内で活躍した女性について二人が互いに調査していることを知ったことをきっかけに、それぞれの資料を持ち寄りの活動を始めました。

ひ 県主催の海外研修に参加した旧田沼地区の修了者同士が、月1回テーマを決めて勉強会を行ったのがきっかけです。

Q. 具体的にどんな活動を行っていますか?

女 社会福祉のパイオニアとして多くの女性を育てた正田淑子さんを初めとする、市内で活躍した女性の資料収集や歴史的検証を行い、「佐野の女性



(上) 表彰式の会場にて

たちver.1」を発行しました。

ひ DVやセクハラなどを題材として朗読劇を行い市内講演会や老人会で発表してきました。

Q. 授賞した感想と今後の活動は?

女 応募した中から選んでもらえて嬉しいです。地域の女性の生き方を通じてこれからのヒントにもらえるよう、女性活躍の調査を行いパンフレットの次号を発行していきたいです。ぜひ市出身、ゆかりがあり活躍した女性の情報などを寄せてほしいです。

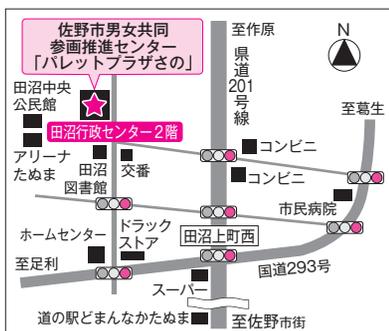
ひ 活動を認められ嬉しいです。活動を通して男性からの気づきも得られるようになりました。今後は若い人たちに伝える場を広げていけるよう活動していきたいです。



(上) 佐野女性史研究会の永倉文子さん(左)と落合由美子さん(右)
(下) 朗読ひびきの慶野勝代さん(左)と亀山里江さん(右)

【編集後記】

コロナ禍で、コミュニケーションをどうとつたらいいのか? 会議や職場では「オンライン」「テレワーク」などが取り入れられてきています。スマホでできることもあるので、学びながら体験できる機会を増やしていきたいです。



【編集委員】
阿部 陽子 今井美砂子
黒澤千賀子 中里 聖子

パレット第22号【2021年3月発行】
編集発行 佐野市 市民生活部人権・男女共同参画課
〒327-0398 栃木県佐野市田沼町974-3
電話 0283(61)1140 FAX0283(61)1142
E-mail: danjokakari@city.sano.lg.jp

男女共同参画に関する身近な情報や、市内で活躍する女性の情報をお寄せください。また情報紙「パレット」についてのご意見・ご感想をお待ちしております。